

平成14年まちづくり功労者の功績概要

1. くしろ元気ファンド運営委員会（北海道釧路市）

釧路市建設事業協会の主唱により、同協会や地元企業が拠出して創設された「くしろ元気ファンド」により、まちに活力を与える様々な取組みに対して助成を行っている。助成にあたっては、公開審査会という独創的・先進的な手法を取り入れるなど、住民主体の活力あるまちづくりを推進している。

2. 留萌十字街西地区市街地再開発組合（北海道留萌市）

十字街地区が都市環境上および都市防災上非常に問題のあった地区であったことから、市街地再開発事業を実施し、敷地の共同化による土地の高度利用と建物の不燃化により当該地区の都市機能の更新と快適な都市環境の形成に貢献するとともに、中心街の新しい核施設として市営温水プールをはじめとする公共公益施設を整備することにより、中心市街地の活性化に大きく寄与した。

3. 黒崎俊夫（群馬県群馬郡群馬町）

群馬町施行の南部土地区画整理審議会長を7年4ヶ月、また任意団体の南部土地区画整理推進協議会長を20年以上の長きにわたり務め、町初めての土地区画整理事業において、事業当初から地元調整やまちづくりの中心的役割を果たし、事業完成に多大な貢献をした。

4. 氷川の杜うるおいのあるまちづくり推進協議会（埼玉県さいたま市）

大宮氷川神社の参道として親しまれる氷川参道を、交通上の危険や樹木の衰えなどの問題点を解決しながら将来に引き継ぐため、人々が問題を共有しまちづくりに参加できるよう多様な活動を行い、また、行政等とも協働し積極的に提言を行う等により、道路改修工事の実現や参道清掃活動への地元住民や企業の広範な参加を実現するなど、具体的な成果をあげている。

5. 与野駅西口寿町地区市街地再開発組合（埼玉県さいたま市）

市街地再開発事業と土地区画整理事業の同時施行により、周辺地域の全体計画を配慮しながら、壁面後退により安全な歩行者空間を創出する等、ゆとりと潤いのある街づくりに寄与した。また、地区内の土地の高度利用と施設建築物の更新を行い、防災機能の向上と、駅前通にふさわしい商業業務施設を配置し、活気のある街づくりに貢献した。

6. ^{かわごえしかさはたひがしまえはらとちくかくせいりくみあい} ^{さいたまけんかわごえし}川越市笠幡東前原土地区画整理組合（埼玉県川越市）

平成7年度から川越市長に委譲された、「5ha未満の土地区画整理組合の設立等の事務」の第1号認可を得、「緑住区画整理事業」として土地区画整理事業を施行し、その後のミニ区画整理の先駆者となるとともに、権利者、農協、行政とが一体となり、農と住の調和したまちづくりを行った。また、地区計画を策定するなど良好な住環境の確保に努めた。

7. ^{きゅうまちづくりいんかい} ^{まつがおかにじゅういち} ^{まつがおかじちかい} ^{さいたまけんとろざわし}旧街づくり委員会“松が丘21”[松が丘自治会]（埼玉県所沢市）

松が丘住宅地において、建築協定の有効期間満了による延長の難しさから地区計画へ移行の検討を開始し、長期にわたり地域での話し合いを重ね、住民間での合意形成に努力した。その結果、地区計画が都市計画決定され、さらに条例化されるなど、地域のまちづくりに貢献した。

8. ^{つつじえんかんりくみあい} ^{さいたまけんあげおし}つつじ苑管理組合（埼玉県上尾市）

これまで実質的な活動がなかった自治会の中において、建築協定の期限切れを機会に、改めて自分たちの居住する地域について考えるため、建築協定検討会を設置し、一年間にわたり地域住民、関係権利者と議論を重ねながら、新たな建築協定を検討し、全員の合意を得て、再協定を行った。

9. ^{かしわえきにしぐちびいにちくしがいちさいかいほつくみあい} ^{ちばけんかしわし}柏駅西口B-2地区市街地再開発組合（千葉県柏市）

市街地再開発事業の施行にあたり、末広あけぼの線及び区画街路の整備に合わせ、敷地の共同化及び土地の合理的かつ健全な高度利用を図り、街路拡幅に貢献するとともに、壁面線を設定することによりオープンスペースや歩行者空間を確保し、良好な都市環境の形成に寄与した。

10. ^{こうほくほくぶとちくかくせいりくみあい} ^{とうきょうとあだちく}江北北部土地区画整理組合（東京都足立区）

組合設立当時、スプロール現象等による住環境の悪化が懸念されていた地区において、全国最大規模の施行面積（152.1ha）を誇る土地区画整理事業を実施し、都市計画道路や公園などの都市基盤を整備し、安全、安心かつ快適でゆとりをもって暮らせる魅力あるまちづくりの推進に尽力した。

11. ^{かまくらげいじゅうつかんしゅうへんちくまちづくりきょうぎかい} ^{かながわけんかまくらし}鎌倉芸術館周辺地区まちづくり協議会（神奈川県鎌倉市）

まちの将来像を共有化するため「まちづくり基本方針」の策定に取組み、松竹鎌倉シネマワールド等跡地の土地利用転換に際しては計画的な土地利用の誘導し、地区計画や景観形成地区を指定、またプロムナード事業の事業化にあたっては協議・調整に努めるなど、まちづくりの推進に大きく貢献した。

12. 新磯野5丁目地区まちづくり協議会（神奈川県相模原市）

良好な住宅地の環境を次の世代へ引き継ぐため、既成市街地約4.1haを対象に、住民自らの発意による住環境保全型の地区計画案を策定した。策定にあたっては、調査、協議、検討、説明会等を行い、地権者の多数の賛同を得、市に地区計画の都市計画決定の要請を行った結果、都市計画決定に至った。

13. 昭和町通り商店街協同組合（新潟県十日町市）

都市計画道路川治昭和町線の街路事業に際し、地元住民組織として、街づくり基本計画の策定に協力するなどよりよい街づくりに向けて積極的に取り組んだ。また、当該道路の冬期間の交通障害解消を進めるため、公営住宅等関連事業推進事業の補助を受けるなど屋根雪処理の検討・改善を進めた結果、歩道融雪装置との相乗効果によって目覚ましい効果をあげた。さらに、地区一体の自主的な花いっぱい運動によって美しい景観の形成を現在も継続中である。

14. 黒部まちづくり協議会（富山県黒部市）

中心市街地の活性化等について、市民自らが考え実践するワークショップにより議論・研究するとともに、全市民を対象とするタウンミーティングを開催し、より広い意見を集約して行政に提言するなど、市民がまちづくりに直接関わる絶好の機会を創出し、市民のモチベーションと自治意識を高揚させた。また、行政に市民の意見を反映させ実際の施策に生かされつつあり、開かれた行政の推進に貢献した。

15. 温泉中央南線（山中温泉ゆげ街道）街なか再生・目抜き通り整備協議会（石川県江沼郡山中町）

まちづくりの勉強会、先進地視察、講演会等を積極的に開催し、まちづくりに対する沿道住民の意識の向上を図ったことで、住民の理解のもとまちづくり協定を策定した。また、協定書に基づき協議会が中心となってまちづくりの指導や監修を行っており、まちづくりがスムーズに進んでいる。

16. 浜松東第一25街区第一種市街地再開発組合（静岡県浜松市）

浜松市中心市街地活性化計画における重点施策事業の施行団体として、土地区画整理事業と市街地再開発事業の同時施行を実施、行政等の各種関係機関の調整並びに公共施設整備の統一化及び一体的整備を図り、中心市街地活性化、都心人口の回復、官民一体の統一感のある街並みの創出に寄与した。

17. 小牧三丁目地区第一種市街地再開発事業個人施行者（愛知県小牧市）

愛知県で初めての個人施行の市街地再開発事業を実施し、老朽化した建物を一新、土地の高度利用と耐火建築物の整備をした。また地区計画による新規幹線道路や、セツバックによる歩道状空地、沿道商業施設などが提供され、安心して安全な地区を創り上げられた。

18. ^{かすがいまえたかとくていとちくかくせいいりくみあい} ^{あいちけんかすがいし}春日井前高特定土地区画整理組合（愛知県春日井市）

春日井市西部地域において、周辺地区の市街化の進展に合わせた土地区画整理事業を実施し、文化的な生活が営める街づくりに寄与した。また、都市計画道路6路線の整備をはじめ、ふれあいセンター、公園など公共施設の整備と併せ、集合農地の設定、学校用地の確保及び大小の商業施設等の配置など快適な住環境の整備に務めた。

19. ^{おおぶちやとくていとちくかくせいいりくみあい} ^{あいちけんおおぶし}大府茶屋特定土地区画整理組合（愛知県大府市）

土地区画整理事業の実施により、大府市をはじめ、知多半島周辺の市町から隣接する名古屋市や第二東名自動車道への新しい交通アクセスとしての都市計画道路の整備を図るとともに、無秩序に開発されつつある区域を面的に整備することにより、この幹線道路を境に東側を工業地域、西側を住居地域に分離し、良好な住宅地を形成することができ、まちづくりに貢献した。

20. ^{はたしょうちょう} ^{しがけんえちぐんはたしょうちょう}秦 荘 町（滋賀県愛知郡秦荘町）

美しい水空間の創出及び生活環境の改善をめざして、平成元年度特定環境保全公共下水道に事業着手以来、町の最重要課題に位置づけて事業の促進に努め、琵琶湖流域下水道で最も短期間で事業を完成させた。これにより町内水路への生活排水の混入がカットされ、鈴鹿山系からの清水による美しい水辺空間が形成されるとともに、琵琶湖を中心とする美しい湖国の保全に務めている。

21. ^{ほうじょうのさとあかのいわりゅういききょうぎかい} ^{しがけんもりやまし}豊穰の郷赤野井湾流域協議会（滋賀県守山市）

「ホテルとシジミを取り戻そう」を合い言葉に流域住民が先頭に立ち、行政、自治会、企業と手を組み、身近な河川を見直し豊かな川づくりを実践した結果、近年、市街のあちこちでホテルが飛び交い、魚も戻りつつある。また学校と共同で水生生物調査や川調べを行い、環境教育の一役を担うとともに、赤野井湾探検会では田舟に分乗して湾内の水質、水生生物調査の経年変化を解析して、市民の啓発を行っている。

22. ^{けいはんひがしろーずたうんとちくかくせいいりじぎょう} ^{せこうしゃ} ^{けいはんでんきてつどうかぶしきがいしゃ}京阪東ローズタウン土地区画整理事業 施行者 京阪電気鉄道株式会社 ^{きょうとふやわかし} ^{きょうたなべし}（京都府八幡市、京田辺市）

土地区画整理事業により良好な宅地供給とJR片町線の新駅（松井山手駅）の誘致、公共施設及び都市利便施設の整備に加え、恵まれた立地特性を生かし、立体道路制度やボンネルフ道路など先進的な手法の活用による利便性、安全性の向上と地域コミュニティの推進に努め、すぐれたまちづくりを展開した。また、ホームセキュリティシステムの導入による安全性の確保、住民活動を支援するサービス組織の運営等も充実させ、関西圏における良質な住宅地として高い評価を得ている。

23. ^{かもちょう} ^{きょうとふそうらくぐんかもちょう}加茂町（京都府相楽郡加茂町）

加茂駅周辺地区において、土地区画整理事業を軸として、さまざまな視点からまちづくりを捉え、公共施設を整備し、民間建築物誘導を進めることにより、だれもが暮らしやすく、かつ、都市景観に優れた街並みの実現に努力している。

24. 亀岡市（京都府亀岡市）

平成8年度から土地区画整理事業に着手し、亀岡市の「東部都市核」にふさわしい都市基盤の整備と、商業地と住宅地の調和のとれた良好な市街地を創出するとともに、駅前広場・駅アクセス道路の築造により交通結節点機能が充実し、住み良いまちづくりに寄与した。

25. 特定非営利活動法人 赤煉瓦倶楽部・舞鶴（京都府舞鶴市）

明治、昭和期に軍港として栄えた舞鶴市の個性と魅力を「赤煉瓦建造物」に見出し、まちづくりキーワードを「赤煉瓦」として、保存・活用に関する調査、研究、提案等の地道な活動を展開することで、「赤れんがの町・舞鶴」を市内外の多くの人々に印象づけ定着させる等、住民参加、官民連携による「まちづくり、地域おこし」に関する草分け的活動に貢献した。

26. 箕面新都心まちづくり協議会（大阪府箕面市）

箕面市萱野中央特定土地区画整理事業の基盤整備後のまちづくりを推進するため、「まちづくり基本計画」や「まちづくりルール」等を行政に対し積極的に提案した結果、地区計画の決定や用途地域の変更が行われ、将来にわたって魅力あるまちづくりの推進を担保することができた。

27. 久宝寺寺内町まちづくり推進協議会（大阪府八尾市）

八尾市久宝寺地内町地区の歴史的な街並みを街並み環境整備事業において保全整備するために、まちづくり協議会を結成、協議会の前進である検討委員会からの活動を含めると10年にわたり、本地区のまちづくりに関する提言や啓発活動、更には、地元・関係機関との協議・調整を実施している。

28. サニータウン緑ヶ丘地区（その2）建築協定運営委員会（大阪府河内長野市）

良好な住環境の保全を図るため、アンケート・ヒアリング等を実施しながら、建築協定の更新を図った。更に、建築協定再締結の際に、周辺地域を建築協定地域隣接地に指定することにより、未同意者についても簡易な手続きで加入できるようにした。この結果、今後の加入区画増加に道を開き、良好なまちづくりの推進に寄与した。

29. 川西能勢口駅東地区第1工区市街地再開発組合（兵庫県川西市）

昭和54年から長期にわたり街づくりに取組み、紆余曲折を経て組合施行の市街地再開発事業を成し遂げ、公共施設の整備及び土地の高度利用を図るとともに、不燃化された共同化建物を建設し、地域の活性化に貢献した。

30. 江原駅東街づくり委員会（兵庫県城崎郡日高町）

日高町で初めての土地区画整理事業において、先進地の視察などにより、権利者の不安の解消や権利者間の調整を図り、事業の円滑な推進に寄与した。また一方で、住民自ら街並みの検討、景観形成基準づくりを行い、関西有数の高原リゾート地である神鍋高原の玄関口にふさわしい統一された街並みを実現した。

さんだえきまえていぶろつくちくしがいちさいかいはつくみあい ひょうごけんさんだし
31. 三田駅前Dブロック地区市街地再開発組合（兵庫県三田市）

三田市の玄関口でありながら、公共施設の整備や商業施設などの都市機能の更新などの遅れにより、急速に魅力を失いつつあった三田駅前地区で、組合施行による市街地再開発事業を完成させ、まちの活性化と魅力あるまちづくりに大いに貢献した。

ひがしいずもちょう しまねけんやつかぐんひがしいずもちょう
32. 東出雲町（島根県八東郡東出雲町）

出雲郷東灘土地地区画整理事業の施行により、山陰道東出雲インターの整備に併せ、都市計画道路、公園などの公共施設の一体的な整備を行い、良好な住宅地、及び地域の核となる商業地をもった新市街地を創造した。

ながよちょううしろごうちとちくかくせいきくみあい ながさきけんにしそのぎぐんながよちょう
33. 長与町後川内土地地区画整理組合（長崎県西彼杵郡長与町）

土地地区画整理事業の実施にあたり、「長与町基本計画」に位置づけられている学園都市構想達成のために、住民へのまちづくり活動の啓発や住民の意見調整、県立シーボルト大学の誘致等を行い、まちづくりの推進に努めたのみならず、長与町及び周辺地域の発展に貢献した。

みやざきしとうぐうとちくかくせいきくみあい みやざきけんみやざきし
34. 宮崎市東宮土地地区画整理組合（宮崎県宮崎市）

土地地区画整理事業において、「乱開発からふるさとを守ろう」を合い言葉に、地区内の里山を一部保存するなど、自らの手で、緑あふれるゆとりと潤いのある住環境を整備し、自然と共生した計画的なまちづくりの先導的な役割を担った。また併せて、街並みづくりのコンセプトである「ガーデニングタウン」を維持すべくソフト面にも力を注いでおり、住民、組合、行政が一つになり住み良い計画的な街づくりが行われた功績は大である。

ことにしんいちくしがいちさいかいはつくみあい さっぽろし
35. 琴似3・1地区市街地再開発組合（札幌市）

西区の地域中心核として、商業・業務・アミューズメント・宿泊施設等の多様な施設誘致と良質な居住環境を有する都市型住宅の供給を行い、駅前のにぎわい空間を創出し、全員同意によって短期間で市街地再開発事業の完成に至った。また、冬期でも安全で快適なJR駅直結の屋内型空中歩廊とこれに接続するエレベーター・エスカレーター及び快適なコミュニティ空間としてのアトリウムを整備し、JR利用者を始め多くの人々に利用され親しまれている。

さっぽろしたくほくとちくかくせいきくみあい さっぽろし
36. 札幌市拓北土地地区画整理組合（札幌市）

札幌市拓北土地地区画整理事業において、都市計画道路2路線を基幹に区画道路を計画的に配置し、2箇所の公園を整備するとともに、戸建て住宅用地の一部を集合住宅用地に転換することによって、円滑に事業を実施した。また、土地利用計画との整合性に配慮し、隣接の既成市街地との調和の保たれた街づくりを行った。

37. ^{ちばしはらまちだいさんちちくかくせいりくみあい}千葉市原町第三土地区画整理組合（^{ちばし}千葉市）

千葉市原町第三土地区画整理事業を施行し、従前にあった里山の良好な樹林を緑地として保存し、豊富な緑と自然環境を生かしつつ「育む四季の街づくり」をテーマに潤いのある郊外型住宅地の整備を行った。これにより、周辺地域の発展に大きく寄与するとともに、公共施設の充実に大きく貢献した。

38. ^{かわさきしびかうんどうじっしなかはらしぶ}川崎市美化運動実施中原支部（^{かわさきし}川崎市）

中原区の美化活動の一貫として「捨て看板撤去活動」を実施した。これは、町の美化はもちろん、看板による通行障害、特に車椅子の妨げの撤去や、青少年に有害な広告の排除に大変意義のある活動となった。

39. ^{よこはまぐみようじしやうてんがいきやうどうくみあい}横浜弘明寺商店街協同組合（^{よこはまし}横浜市）

弘明寺の門前町として発展してきた商店街の魅力や安全性・快適性を高めるため、アーケードの建替や歩行者用橋の化粧工事、道路特殊舗装工事などの再整備を行った。また、地域の振興、活性化を目的に、多様なイベントを実施しているほか、地域の市民活動と連携・協力してみんなで進める魅力あるまちづくりを推進している。

40. ^{だいいちきやうどうかいはつかぶしきがいしや}第一共同開発株式会社、^{かぶしきがいしやもざいくかいはつ}株式会社モザイク開発（^{よこはまし}横浜市）

地権者48人の共同化によりモザイクモール港北を整備した。これは、観覧車を組み込んだデザインによって、港北ニュータウンの新たなランドマークとなっている。また竣工後も、古民具展示や土地区画整理事業前の写真展を開催するなど、地域に根ざした文化催事を行っている。

41. ^{ふじたきちさぶろう}藤田吉三郎（^{きやうとし}京都市）

京都市西京区阪急桂南地区建築協定の締結に中心的な役割を果たし、同地区の「まちづくり」に多大な貢献をした。また、京都市建築協定連絡協議会の発足に中心的な役割を果たし、京都市における建築協定制度の普及啓発に多大な尽力を尽くした。

42. ^{べっしよさだとし}別所貞俊（^{きやうとし}京都市）

一人協定地区として締結された新規に開発された住宅団地において、住民主体による建築協定運営委員会を組織し、自ら委員長となるなど、新規開発の団地における「まちづくり」の重要性の啓発に尽力した。また、京都市建築協定連絡協議会の発足に中心的な役割を果たし、京都市における建築協定制度の普及啓発に多大な貢献をした。

43. ^{おおさかし}大阪市（^{おおさかし}大阪市）

此花西部臨海地区土地区画整理事業を実施し、都市計画と港湾計画の双方を見直し、港湾整備事業と連携して都市基盤施設を整備するとともに、大規模な建物移転を進め、主要道路の電線類の地中化やユニバーサル・デザインによる高品位の舗装、街路樹等の整備を行い、緑豊かでリゾート感覚あふれるアメニティ空間の形成を図った。

44. ^{びわちようふっこうじゅうみんきょうかい} ^{こうべし}琵琶町復興住民協議会（神戸市）

平成7年の震災直後から区画整理事業の事業計画が決定されるまでの間、施行者と権利者の意見調整を行い、道路・公園の配置計画を施行者とともに考案し、事業の早期着手に貢献した。また、震災の教訓を生かした災害に強いまちづくりを目指して、電線類の地中化、耐震型防火水槽を備えた防災公園の考案等を行い、周辺地域の防災拠点としての整備にも貢献した。

45. ^{じえいあーるすみよしえきみなみちくしがいちさいかいはつくみあい} ^{こうべし}J R住吉駅南地区市街地再開発組合（神戸市）

震災復興事業として市街地再開発事業を実施し、多数の権利者の創意と工夫で事業を推進し、計画的に共同化及び不燃化を図り、多彩な商業施設と都市型の良質な住宅を供給した。また、災害に強いまちづくりを目指して、電線類の地中化、住宅のオール電化などを導入するとともに、公開空地、道路拡幅による歩行者空間を整備した。

46. ^{まいこうえんえききたちくしがいちさいかいはつくみあい} ^{こうべし}舞子公園駅北地区市街地再開発組合（神戸市）

震災復興事業として市街地再開発事業を実施し、被災を受けた老朽建物の更新と権利者の生活再建を実現した。また、明石海峡大橋関連事業の総仕上げとして、舞子駅前地区と一体となった舞子地区再開発地区計画に基づき、交通結節点である駅前に2号施設（広場約1,200㎡）、区画道路、敷地内歩道状空地・周辺緑地などの都市基盤を整備するとともに安全で良好な住環境を創造し、地域整備に大きく貢献した。

47. ^{きんざがいちくだいろくがいくしがいちさいかいはつくみあい} ^{ひろしまし}金座街地区第6街区市街地再開発組合（広島市）

中国・四国地方を代表する商業集積地において、地価を顕在化させない画期的な権利変換手法を用いて市街地再開発事業を完成させた。これにより、広島市の都心にふさわしい、個性と魅力あふれる都市空間が形成されるとともに、高次商業機能の集積が進み、都心地区の回遊性や広域的な集客力が高まった。

48. ^{きたきゅうしゅうしひがしだちくかくせいいりくみあい} ^{きたきゅうしゅうし}北九州市東田土地区画整理組合（北九州市）

東田地区等の活性化のため、大規模な工場跡地の未利用地において土地区画整理事業を施行した。東田地区と周辺市街地を分断していたJ R鹿児島本線に移設し、開発効果を周辺地域への活性化に寄与させるため、地区内外を一体化した開発を行い、北九州市の新たな都市拠点を形成した。